

「ものづくり・商業・サービス補助金」が さらに使いやすくなりました

ものづくり補助金だからできること。

補助上限金額 750万円～3,000万円、補助率 1/2～2/3

で新製品・サービス開発や生産プロセス改善等のための設備投資を支援します。

※一般型（グリーン枠除く）は補助上限750万円～1,250万円（従業員数に応じる）、グローバル展開型は補助上限3,000万円

成長投資と事業環境変化を支える、新しい3つの類型。

【回復型賃上げ・雇用拡大枠】

業況が厳しい中での投資

補助上限 750～1,250万円

補助率 2/3

【デジタル枠】

DX、デジタル化に資する投資

補助上限 750～1,250万円

補助率 2/3

【グリーン枠】

温室効果ガスの排出削減、炭素

生産性向上に資する投資

補助上限 1,000～2,000万円

補助率 2/3

誰でも使える。生産性向上を目指すなら。

以下の要件を満たす事業計画（3～5年）を策定・実施する中小企業等※なら、どなたでもご応募いただけます。

要件①：付加価値額
+ 3%以上/年

要件②：給与支給総額
+ 1.5%以上/年

要件③：事業場内最低賃金
地域別最低賃金 + 30円

※業種によって定義が異なりますが、製造業の場合は、資本金3億円以下又は従業員300人以下の企業を指します。
また、革新性や事業性等の審査がございます。公募締切毎に異なりますが、2～3倍程度の採択倍率です。

かつてない「使いやすさ」へ。



最適なタイミングでの申請、十分な準備・事業期間の確保が可能に！



あらゆる補助金の手続を一つのポータルサイトに集約！（J-Grants）



新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けつつも、生産性向上に取り組む事業者向けに、3つの特別枠を創設！

※詳細については、裏面（次ページ）を参照下さい。

令和元年度補正予算及び令和3年度補正予算で中小機構に措置

活用例

事例（通常枠）

- ・複数形状の餃子を製造可能な餃子全自動製造機を開発
- ・「食べられるクッキー生地のコピーカップ」の製造機械を新たに導入

活用イメージ（デジタル枠）

- ・IoTやセンサー技術を活用した製品開発のため、製造機械を新たに導入
- ・受発注や在庫管理の電子化するため、専用システムを新たに導入

活用イメージ（グリーン枠）

- ・省エネ・環境性能に優れた新製品開発のため、機械と専用システムを新たに導入
- ・労働生産性向上を伴いつつ脱炭素に繋がる製造設備の導入

新しいメニューで、様々な取組に対応。

| 事業類型 | 概要 | 補助上限 | 補助率 |
|------------|--|---------------------|-----------------------------|
| 一般型 | 通常枠 新製品・新サービス開発・生産プロセスの改善に必要な設備投資及び試作開発を支援。 | 750万円～ 1,250万円 | 1/2 小規模・ 再生事業者 2/3 |
| | 回復型賃上げ・雇用拡大枠 業況が厳しい事業者（※）であって、賃上げ・雇用拡大に取り組むための革新的な製品・サービス開発又は生産プロセス・サービス提供方法の改善に必要な設備・システム投資等を支援。 （※）前年度の事業年度の課税所得がゼロである事業者に限る。 | 750万円～ 1,250万円 | 2/3 |
| | デジタル枠 DXに資する革新的な製品・サービス開発又は生産プロセス・サービス提供方法の改善による生産性向上に必要な設備・システム投資等を支援。 | 750万円～ 1,250万円 | 2/3 |
| | グリーン枠 温室効果ガスの排出削減に資する革新的な製品・サービス開発又は炭素生産性向上を伴う生産プロセス・サービス提供方法の改善による生産性向上に必要な設備・システム投資等を支援。 | 1,000万円～ 2,000万円 | 2/3 |
| グローバル展開型 | 海外事業（海外拠点での活動を含む）の拡大・強化等を目的とした設備投資等を支援。 | 3,000万円 | 1/2 小規模 2/3 |
| ビジネスモデル構築型 | 中小企業30者以上のビジネスモデル構築・事業計画策定のための面的支援プログラムを補助。（例：面的デジタル化支援、デザイン経営実践支援、ロボット導入FS等） | 1億円 | 大企業1/2 上記以外2/3 |

<令和元年度補正・令和3年度補正予算ものづくり補助金の今後のスケジュール>

2月16日（水） 公募開始
 3月15日（火） 電子申請受付
 5月11日（水） 応募締切（10次締切）

応募方法等の詳細は
こちらからご確認ください



※本事業の過去の締切回において不採択となった事業者の方は、10次締切に再度応募いただくことが可能です。ただし、要件等が変更となっていますので、ご注意ください。なお、10次締切分の採択発表は、令和4年7月中旬を予定しています。令和4年度内に複数回の締切を設け、それまでに申請のあった分を審査し、随時採択発表を行います（予定は変更する場合があります）。

重要！ 本補助金の申請にはGビズID（アカウント）の取得が必要です。
 ID取得に一定の期間を要しますので、お早めにお手続き下さい。

GビズID

検索

